2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170259	クラス名	福島研究室
担当教員名	福島　学		
履修上の注意、履修条件	これまでの科目でわからない事柄がある場合は，必要に応じて早期に再学習することを薦めます．卒業研究として希望する専門分野の担当教員クラスを履修すること。演習を伴う授業なので遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。学修成果は研究室Wiki等を使用して適時フィードバックするので各自活用に努めること．		
教科書	適時指示します		
参考文献及び指定図書	講義中に指定をします。		
関連科目	インターネット関連科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①卒業後の進路を見据えるために必要な情報を収集・整理し活用する意志を維持することが出来る．		15点	
【知識・理解】	②技術課題の把握とそれが課題となっている原因を理解することができる．		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③プロジェクトとして取組むために必要なドキュメントコミュニケーションが出来る．		25点	
【思考・判断・創造】	④課題解決策およびそのための計画を立案・実施することができる． ⑤プロジェクトとして目標に向かうために必要なコミュニケーションが取れる．		30点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

S：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果を学外発表できる水準の信頼性とできる
A：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果の信頼性が確認できる
B：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果をまとめられる
C：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行うことができる

○授業の目的・概要等		
授業の目的	研究ゼミナールは『これまでに習得した内容を「社会に活かす実用的なスキル」に昇華するための準備』を行うための卒業研究にスムースに着手するための準備を行うことを目的とした科目です．また，3年次後期から具体的な業界や業種を選定するといった就職活動の準備として「専門分野の常識」を身につけることも目的としています． この科目は各専門領域の教員がゼミナール形式で開講することで、学生に専門教育科目の履修だけでは不足しがちな専門教育を学ぶ上での学習方法・学習態度を身につけてもらうと同時に，卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします．	
授業の概要	授業で学んだことを如何に「活かすか」について「自ら考え行動する」ことが出来るようになることを目指して実施します．このため，目標毎にプロジェクトを構成し，プロジェクト単位で計画やどのように実施するかを考えていきます．	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	情報工学の技術を活かした社会課題解決への取組みに必要な基礎的スキル(技術修得・展開・論理的思考)を学ぶ．福島は，システム開発系企業で開発業務に従事しており，種々のシステム開発および実稼働経験がある．	

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード：P170259
担当教員：福島　学

学修内容

1. 全体説明
本科目の位置づけが卒業後に活躍したい分野を見つけ，それに必要なスキルを修得することであることを確認するとともに，前期までの振返りおよび後期の目標を考えます．

予習： 前期の成果および夏季休業期間中の活動成果を整理する　（約2.0h）
復習： 将来の目標と後期の目標の整合性を確認する　（約2.0h）

2. 計画（1）
後期の目標をクリアするための計画を策定します．

予習： 後期目標に至るまでに必要となる事柄を整理し，必要な情報を収集する．　（約2.0h）
復習： 計画実施に必要な機材等の設備について調べる　（約2.0h）

3. 計画（2）
後期の目標をクリアするための計画を策定します．

予習： 後期目標に至るまでに必要となる事柄を整理し，必要な情報を収集する．　（約2.0h）
復習： 計画実施に必要な機材等の設備について調べる　（約2.0h）

4. ドキュメントコミュニケーション
技術者として必須である技術報告書のリーディングとライティングについて学びます．

予習： 計画を技術報告書様式と照らして抜けがないことを確認する　（約2.0h）
復習： 策定した計画から報告書目次相当を作成する　（約2.0h）

5. 計画（3）
技術報告書の様式と照らし合わせて計画のチェック項目を作成します．

予習： 計画から必要機材について調査する　（約2.0h）
復習： チェック項目を確認する　（約2.0h）

6. 計画報告
策定した計画を報告し，機材等での競合がないことや，目標または手段が共通であったり前後関係であったりする計画との連携を考えます．

予習： 計画についてプレゼンの用意をする　（約2.0h）
復習： 計画実施に必要な事柄を調査する　（約2.0h）

7. 実施（1）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

8. 実施（2）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード：P170259
担当教員：福島　学

学修内容

9. 実施（3）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

10. 中間報告
計画の進捗として達成率を報告します．得られた結果の信頼性について検証した結果の報告および目標に到達できるかについての判断をそれまでに得られたデータに基づいて報告します．

予習： 中間報告のプレゼンの準備をする　（約2.0h）
復習： コメント等に基づいて計画の見直しを行う　（約2.0h）

11. 実施（4）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

12. 実施（5）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

13. 実施（6）
計画にしたがって実施します．

予習： 実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる　（約2.0h）
復習： 実施結果の正当性を確認する　（約2.0h）

14. 報告書作成
報告書の様式に従って実施内容の文書化を行います．

予習： 技術報告書の様式を確認し，対応する実施結果のデータを整理する．　（約2.0h）
復習： 報告書として適切に記載されていることを確認する　（約2.0h）

15. 報告書提出
作成した報告書を提出します．提出時に口頭試問が行われ，試問結果に応じて報告書の修正・訂正を行います．

予習： 報告書として適切に記載されていることを確認する　（約2.0h）
復習： 活動を通して発見した自己を整理し卒業研究の準備を行う　（約2.0h）

16. 期末試験
卒業研究審査会／発表会に参加し，先輩方の取組みを見聞きすることで自分の活動の参考にする．

予習： 整理したノートから学修内容を確認する　（約2.0h）
復習： 学修できていない点とできた点を整理する　（約2.0h）